

令和3年度 第1回小田原市歴史まちづくり協議会 書面会議結果報告兼議事録

1 書面会議の開催方法及び期間

5月12日(水)	【事務局→委員】書面会議の依頼・書類の発送
5月12日(水)～ 5月19日(水)	【委員→事務局】回答様式の提出
6月4日(金)	【事務局→委員】書面会議結果報告兼議事録の発送

2 書面会議出席委員

後藤 治、小和田 哲男、菊池 健策、堀池 衡太郎、平井 太郎、林 美禰子、
早瀬 幸弘、齋藤 貫、菅原 一郎、安藤 圭太、小澤 千香良、北村 洋子、
鈴木 裕一、武井 好博、石塚 省二

※ 回答様式(「意見なし」の意思表示を含む。)の提出をもって出席とした。

3 事務局(書面会議回答担当課)

まちづくり交通課 ほか

4 案 件

協議事項

- (1) 会長及び副会長の選出について
- (2) 令和2年度小田原市歴史的風致維持向上計画の進行管理・評価シートについて
(資料1-1、1-2)
- (3) 歴史的風致形成建造物の指定について
(資料2-1、2-2)

報告事項

- (1) 社会資本総合整備計画の次期計画策定について
(資料3-1、3-2)

5 協議結果、提出意見と担当課等からの回答

協議事項 (1) 会長及び副会長の選出について	2ページのとおり
協議事項 (2) 令和2年度小田原市歴史的風致維持向上計画の進行管理・評価シートについて	2ページから 8ページのとおり
協議事項 (3) 歴史的風致形成建造物の指定について	8ページから 10ページのとおり
報告事項 (1) 社会資本総合整備計画の次期計画策定について	10ページから 11ページのとおり

※ 提出された回答様式のうち、「意見なし」のものについては、掲載を省略。

協議事項 (1) 会長及び副会長の選出について

小田原市歴史まちづくり協議会における会長及び副会長の選出については、小田原市歴史まちづくり協議会規則第4条に基づき、互選を実施したところ、次のとおり、会長及び副会長が選出されました。

ア 会長及び副会長の選出結果

会長 後藤 治 委員 (15名から推薦等がありました)
副会長 小和田 哲男 委員 (15名から推薦等がありました)
菊池 健策 委員 (15名から推薦等がありました)

協議事項 (2) 令和2年度小田原市歴史的風致維持向上計画の進行管理・評価シートについて

令和2年度小田原市歴史的風致維持向上計画の進行管理・評価シートについては、御意見等を「法定協議会等におけるコメント」に反映し、後藤会長に御確認いただいたうえ、国へ提出いたしました。

ア 法定協議会等におけるコメント
別紙のとおり

イ 進捗評価シートに係る意見一覧

委員名	意見	担当課 回答
後藤 委員	【進捗評価シートの全体に係る意見】 順調に取り組みが進んでおり、評価できる。さらに、この状況を継続していただきたい。	更なる歴史まちづくりのため、各事業を推進してまいります。
	【進捗評価シートの個別事業に係る意見】 小田原用水の事業は、息の長い取り組みとして続けていただきたい。 小田原用水を軸に、都市（城下町）と農村部のつながりを見直していただきたい。	小田原用水保全事業については、事業効果を検証しつつ、今後の事業展開を検討いたします。 また、小田原用水を軸とした歴史調査等の検討を進めてまいります。
	【その他の意見】 事業の成果を学校教育に活かす等、さらに部署横断の取り組みを進めていただきたい。 職人研修等の取り組みは、歴まち支援法人へと発展していただきたい。	令和3年度に市教育委員会から教員向けの歴史まちづくり講座の打診があり、実施に向け協議しております。児童生徒を含めた市民への周知の機会と捉え、真摯に取り組んでまいります。 また、歴まち支援法人については、第2期計画における課題と捉え、引き続き検討いたします。
小和田 委員	【進捗評価シートの全体に係る意見】 全体として、順調に進んでいると評価できる。	更なる歴史まちづくりのため、各事業を推進してまいります。

委員名	意見	担当課 回答
	<p>【進捗評価シートのご個別事業に係る意見】 八幡山古郭・総構の公有地化が進んでいることは、喜ばしい。</p>	引き続き八幡山古郭・総構の公有地化に取り組んでまいります。
	<p>【その他の意見】 小田原用水保全事業について、案内板や説明看板はあるか。なければ、どこかに小さくてもあった方がいいように思う。</p>	小田原用水の案内板については、既に設置しております。引き続き、小田原用水の魅力をも市民等に伝えていけるよう効果的な周知方法を検討してまいります。
菊池委員	<p>【進捗評価シートの全体に係る意見】 コロナ禍で大きな影響を受けた事業もあるので無理のない範囲で継続性を意識した計画の進捗を図ってほしい。</p>	コロナ対策等を講じ、各事業への影響を最小限に抑えながら、歴史まちづくりを推進してまいります。
	<p>【その他の意見】 無形の文化については中断すると再開に要するエネルギーが大きなものになるので、中断したままにならないようフォローしていったほしい。</p>	コロナ対策等を講じ、祭礼行事や民俗芸能などの無形の文化財等を次世代へ継承できるよう支援してまいります。
堀池委員	<p>【進捗評価シートの全体に係る意見】 日常生活が潤沢でない今だからこそ、無理せず、可能な範囲で出来ることを粛々と継続することが必要と考える。</p>	コロナ対策等を講じ、各事業への影響を最小限に抑えながら、歴史まちづくりを推進してまいります。
	<p>【進捗評価シートのご個別事業に係る意見】 (1)評価軸②-1 [景観計画の活用] に記載のある二の丸観光案内所 ・現在耐震性のリノベーションは進んでいないが、女子トイレを新設頂き、観光案内の利便性向上があった。 ・外観は、「雨どい」の劣化により景観は決して良くないが、物理的に補修は出来ても松の枝・葉が入る場所のため、管理・維持は現実的に難しいと考える。景観と保存はいずれにしても、継承していくことは難しいが、ベターな方法があるか検討の余地はあると考える。 (2)評価軸③-3 [皆春荘整備保全活用事業] ・板橋地区の山側「松永記念館」を中心として、この皆春荘・古稀庵・それと、渋沢栄一から贈呈された「共寿亭」(山月)の螺鈿(らでん)の襖等は、旬であるので、保全に力点を置く必要がある。私の判っている範囲では、庭に銅製の聖観音像があったが、現在は不詳。</p>	<p>(1)二の丸観光案内所の整備について、検討を進めてまいります。 (2)板橋地区をはじめ、各地区に存する歴史的な建造物については、歴史的風致形成建造物への指定等を進め、歴史的・文化的価値が損なわれることのないよう努めるとともに、民間活用を促すための施策等の検討を進め、持続的な保存活用を目指してまいります。 (3)史跡小田原城跡におけるハード及びソフトの整備を進めるとともに、イベントを含めた活用方法についても検討してまいります。 (4)小田原用水保全事業については、事業効果を検証しつつ、今後の事業展開を検討いたします。 (5)コロナ対策等を講じ、祭礼行事や民俗芸能等を次世代へ継承できるよう支援してまいります。</p>

委員名	意見	担当課 回答
	<ul style="list-style-type: none"> ・板橋地区を山側と旧東海道側と分けて、建物保存を考えた方がよいと考える。 ・旧東海道沿線は、商売（職人の町）としての景観がかろうじて残っていたが、それも、下田豆腐店の閉店等で通りの賑わいが失われている。大窪地区では「植村邸」「下田豆腐店」「廣瀬豊店」「青木石材（権現社）」等は時系列的に内野醤油店と違うので、保存方法は少し変わってくると考える。 <p>(3)評価軸③-6 [八幡山古郭・総構整備事業]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総構の城下張出しから山の神・稻荷森・西堀・東堀・新堀の流れは相変わらず、トイレ不足。新堀にある簡易トイレに幾分救われた感がある。進捗評価としては、ハードの整備は、着々・粛々と進んでおり、ソフト面の案内板も含めて、とても綺麗に整備されてきたと考える。 ・全ての景観に充てはまると考えるが、活用方法が重要であると考え。単発なイベントの仕掛けも当然必要であるが、この感染症禍だから出来る、コンパクトでコンスタントに継承する仕掛けにも目を向ける必要があると考える。 <p>(4)評価軸③-14 [小田原用水保全事業]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の新しい発見が石仏であり、これらを含んだ保全を考えるべきと思う。施工の手入れをして頂くのは大いに結構であるが、川底がコンクリートの打ちっ放しになるは、聊か興ざめであるので、今後も可能な限り風情を残した施工を検討して頂きたい。（保存・維持・管理が難しいのは承知している。） <p>(5)評価軸③-16 [祭礼等保存継承事業]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症禍の中、神社側の努力と氏子の努力がみえる祭礼であった。極論であるが、小田原全ての祭りが感染症禍で中止になっている中で、感染防止を担保し実施することは、次世代に向かう為に必要な事と考える。 	
平井委員	【進捗評価シートの全体に係る意見】 歴史まちづくりに資する民間の取り組み	今後も歴史まちづくりに資する民間の取り組みを把握するよう努めて

委員名	意見	担当課 回答
	<p>みについても幅広く拾っていただいているので素晴らしいです。</p> <p>【進捗評価シートの個別事業に係る意見】</p> <p>(1)民間による学習帳などの配布は素晴らしいですね。ぜひ協議会でも内容を共有いただきたいです。</p> <p>(2)総構関連の石敷き遺構に対する民間の協力も素晴らしいですね。広くアピールしていただいて今後の同様の動きにつなげては如何でしょうか。</p> <p>(3)かなり幅広く実施されているので、今後、事業内容を紹介するポータルサイト(リストやマップから個々の事業がわかるもの)などがあるとよいですね。</p>	<p>まいります。</p> <p>(1)今後の協議会において、歴史まちづくりに資する民間の取り組みを御紹介できるよう検討いたします。</p> <p>(2)より多くの市民等から協力を得られるよう、事業の周知についても検討いたします。</p> <p>(3)進行管理・評価シートについては、市ホームページにて公開しております。市民等により伝わりやすいよう検討いたします。</p>
林委員	<p>【進捗評価シートの全体に係る意見】</p> <p>コロナによる影響がまちづくりにどのようなあらわれたのか。コロナが終息してからでもよいので、まとめていただけるとありがたい。未曾有の経験なので将来への提言となることを望む。</p>	<p>今後、コロナ禍からの回復を図るためにも、歴史まちづくりに与えた影響について検証してまいります。</p>
	<p>【進捗評価シートの個別事業に係る意見】</p> <p>祭礼や民俗芸能にコロナが与えた影響は非常に大きい。県民俗芸能保存協会が実施したアンケートでも祭礼に関係した芸能は祭礼の中止により、練習すら行われなかった。そのため、子どもたちの育成が困難となった。</p> <p>祭礼等保存継承事業については、祭礼が中止になった場合の伝統継承について、具体的な支援を提案していただきたい。</p> <p>民俗芸能保存継承事業については、コロナにより後継者育成発表会が実施できなく誠に残念であった。会長の死去により、活動があまりできなくなった「栢山田植歌保存会」の支援として、文化財課と生涯学習課が協力して、おだわら市民学校専門課程に「栢山田植歌」をとりあげ、新しい会員を獲得したのは、大きな成果であると思う。</p> <p>小田原市文化財保護委員の大谷津早苗昭和女子大学教授によれば、手で植える田植えがほとんど行われなくなった現在、田植え歌は消える運命にあると言う。栢山は</p>	<p>祭礼等保存継承事業については、感染拡大防止対策を講じた実施方法(縮小、無観客開催など)を提案してまいります。</p> <p>民俗芸能保存継承事業のうち「栢山田植歌」については、おだわら市民学校と連携し、継承者を増やすことができたことはひとつの成果であると認識しています。高齢化が心配される栢山田植歌保存会の意向を尊重しつつも、継承していけるよう支援を図ってまいります。</p> <p>今後も、おだわら市民学校との連携を図っていくほか、林委員の御意見のように、報徳小学校の児童の田植体験に合わせて、「栢山田植歌」も知っていただき、継承につながるような取り組みも提案し、支援してまいります。</p>

委員名	意見	担当課 回答
	<p>二宮尊徳の捨て苗田で報徳小学校の4、5年生が田植えをしており、保存会のメンバーが田植え歌を披露している。学校教育に関係する所管課をまきこんで、子どもたちに教え、毎年受け継がれていく体制を整えることを提案したい。</p>	
齋藤委員	<p>【進捗評価シートの全体に係る意見】 コロナ禍で影響を大きく受けた事業も見受けられるが、市内各所に残る歴史的建造物の資源を活かし、公共施設等の修景事業も進めながら、市民団体等とも連携を図り、まちづくりを推進してきたと考える。これからも着実に歴史まちづくりを進めて頂きたい。 また、今後とも国土交通省の街なみ環境整備事業等の社会資本整備総合交付金を活用して、歴史まちづくりを進めて頂きたい。</p>	<p>更なる歴史まちづくりのため、国の支援措置等を活用しながら各事業を推進してまいります。</p>
菅原委員	<p>【その他の意見】 評価軸②-1 [重点地区における良好な景観を形成する施策] 中の令和2年度屋外広告物届出件数について、総件数301件に対し内訳合計304件となっていますが、1件で複数地区への届出があったという理解でよいでしょうか。 評価軸④-3 [文化財の保存又は活用に関する事項] の「定性的・定量的評価」欄にある「内野醤油店」は「旧内野醤油店」が正確な記載でしょうか(同ページの画像のキャプションは「旧内野醤油店」となっています)。</p>	<p>令和2年度屋外広告物届出件数の内訳については、誤りのため、次のとおり修正いたします。 小田原駅周辺地区 35件 ⇒ 修正なし 国道1号本町・南町地区 9件 ⇒ 5件 その他 260件 ⇒ 261件 合計 301件 また、「旧内野醤油店」が正式な名称のため、ご指摘のとおり修正いたします。</p>
安藤委員	<p>【進捗評価シートの全体に係る意見】 令和2年度はコロナ禍により事業の中断や延期などの影響が少なからず見られたものの、歴史的建造物を始めとする歴史的風致維持向上施設の整備等については全体として概ね計画どおりに進捗している様子が見えてくる。今後は、市民等に歴史まちづくりの重要性についてより理解を深めていただくため、これら施設等の魅力を積極的に情報発信するとともに、市民連携による取り組みも視野に入れながら</p>	<p>更なる歴史まちづくりのため、市民等へ歴史的風致形成建造物や各事業等の情報発信を図っていくとともに、歴史的風致形成建造物等の利活用については、市民連携による課題解決に向けた取り組みの検討を進めてまいります。</p>

委員名	意見	担当課 回答
	<p>有効に活用していただくことを期待したい。</p> <p>【進捗評価シートの個別事業に係る意見】 評価軸③-24 [民俗芸能保存支援事業] について、本市の生涯学習施策の一つである「おだわら市民学校」の専門課程において、本市の民俗芸能についての学びを取り上げ、その中で担い手不足等により存続が危ぶまれている「栢山田植え歌保存会」の稽古の様子など紹介したことが新たな会員の獲得につながったとのことである。これは、複数の所管が連携したことで歴史まちづくりが進展した成果の一つであり、高く評価できる。</p>	<p>関係所管課の連携を図り、更なる歴史まちづくりの成果を生み出せるよう努めてまいります。</p>
小澤委員	<p>【進捗評価シートの個別事業に係る意見】 評価軸③-11 [銀座・竹の花周辺地区における街なみ環境の向上] について、歴史文化やなりわいの感じられるまちなみ景観の形成を促進させるため、市道 2189 の電線類地中化事業を着実に進めてほしい。</p> <p>評価軸③-13 [かまぼこ通り地区における街なみ環境の向上] について、この地区に相応しい景観形成がなされるよう、「小田原かまぼこ通り活性化協議会」をはじめとする関係者との調整を密に行い、整備を進めてほしい。</p> <p>評価軸③-14 [小田原用水保全事業] について、事業実施にあたっては、相当な事業費が見込まれ、用地の問題や占用橋の取り扱いなど、様々な課題も浮き彫りになったことから、地域住民や来街者の反応など、モデル区間として整備した箇所の実業効果を検証していきながら、今後の事業展開を慎重に見定めてほしい。</p> <p>評価軸③-15 [市道 0026 横断線地中化事業] について、小田原用水保全事業同様、整備した箇所の実業効果を検証していきながら、今後の事業展開を慎重に見定めてほしい。</p>	<p>更なる歴史まちづくりのため、御意見をいただいた事業について、趣旨を踏まえ取り組んでまいります。</p>
北村委員	<p>【進捗評価シートの全体に係る意見】 令和2年度は、コロナ禍において事業の延期や中止などによる影響がありました。が、全体としては計画に沿った形で推進で</p>	<p>更なる歴史まちづくりのため、市民等へ歴史的風致形成建造物や各事業等の情報発信に努めてまいります。</p>

委員名	意見	担当課 回答
	きています。今後も取組について効果的な市民への周知についてお願いします。	
鈴木委員	<p>【進捗評価シートの全体に係る意見】</p> <p>歴史まちづくりは、取り組みに対する市民の理解と協力が重要であるので、計画の内容や事業の必要性、進捗状況などについて、引き続き周知に努めていただきたい。</p> <p>また、進捗の評価にあたっては、個別事業を束ねた総合的な評価などについても検討していただければと思います。</p>	<p>更なる歴史まちづくりのため、市民等へ歴史的風致形成建造物や各事業等の情報発信に努めてまいります。</p> <p>また、今後実施していく第2期計画の進捗評価については、既存の評価に加え、継続的に効果測定調査を実施し、位置付けた事業の総合的な評価を行う予定です。</p>
武井委員	<p>【進捗評価シートの全体に係る意見】</p> <p>コロナ禍により事業が影響を受けるのはやむを得ないところだが、社会情勢を見定めながら歴史まちづくりを推進する必要があると考えます。</p>	<p>コロナ対策等を講じ、各事業への影響を最小限に抑えながら、歴史まちづくりを推進してまいります。</p>
石塚委員	<p>【進捗評価シートの全体に係る意見】</p> <p>コロナ禍により延期や中止しているものもあるが、全体としては感染拡大防止対策等を実施しつつ可能な範囲で事業を推進できている。</p>	<p>引き続きコロナ対策等を講じ、各事業への影響を最小限に抑えながら、歴史まちづくりを推進してまいります。</p>
	<p>【進捗評価シートの個別事業に係る意見】</p> <p>評価軸②-1 [景観計画の活用] について、引き続き良好な市街地環境の形成を進めるため、地元住民等の理解を得られるように工夫し、景観計画重点区域の指定をはじめとした良好な景観形成に向けた取り組みを進める必要がある。</p> <p>評価軸③-4 [歴史的風致形成建造物等整備事業] について、コロナ禍により助成を見送っているが、歴史的風致形成建造物の整備は、歴史的な街なみの維持・向上に有効なため、関係所管課と連携しながら適切に修理・復原できるよう進めてほしい。</p>	<p>更なる歴史まちづくりのため、左記の事業について、御意見のとおり取り組んでまいります。</p>

協議事項 (3) 歴史的風致形成建造物の指定について

歴史的風致形成建造物の指定については、協議の結果、全委員から異議はありませんでした。

つきましては、次の建造物の指定手続を進めます。

ア 歴史的風致形成建造物に指定する建造物

- ① 小田原宿なりわい交流館（旧角吉）
- ② nico cafe（青木家住宅）
- ③ 江嶋
- ④ 籠清
- ⑤ 松永記念館
- ⑥ 清閑亭
- ⑦ 小田原文学館
- ⑧ 旧松本剛吉別邸
- ⑨ 皆春荘
- ⑩ 旧内野醤油店
- ⑪ えじまや（旧江嶋屋陶器店）

イ 歴史的風致形成建造物に係る意見一覧

委員名	意見	担当課 回答
後藤 委員	【今後の指定に向けた意見】 第2期計画の進展を見すえて、さらなる候補建造物の調査及び指定を進めていただきたい。（例、早川地区 等）	歴史的風致の維持及び向上を図るため、候補となる建造物の調査及び歴史的風致形成建造物への指定を進めてまいります。
	【その他の意見】 整備が終わった歴史的風致形成建造物の国登録文化財への登録や景観重要建造物の指定等、恒久的な保護措置をとれるように進めてほしい。	歴史的風致形成建造物を恒久的に保存活用できる仕組みの構築に向け、文化財の指定・登録、景観重要建造物の指定等の他制度との重複指定について検討を進めてまいります。
菊池 委員	引き続き指定を進め歴史的な街並みの保全につとめてほしい。出来れば指定件数が0とならないように計画を進めてほしい。	歴史的風致の維持及び向上を図るため、候補となる建造物の調査及び歴史的風致形成建造物への指定を進めてまいります。
堀池 委員	【今後の指定に向けた意見】 (1)特に、板橋地区の山側の別荘地全体の保全が急務であると考えます。 (2)早川の紀伊神社付近字西から中における民家の保全も急務である。 ・第二次世界大戦前後の民家が多数残っている。古民家として区別するかは定義が難しいが、戦後下の台風の到来による建造物の底上げ等は次世代に継承してもよい歴史感になると考える。 ・特に、氏子制度が未だに残っていることも伝承の対象か？	歴史的風致形成建造物については、第2期計画の重点区域内に限り指定できる制度となります。重点区域外である紀伊神社周辺の歴史的な建造物については、現時点では指定候補とすることもできません。御意見を踏まえ、紀伊神社周辺の歴史的な建造物を保全できる施策について、重点区域の拡大も含め検討を進めてまいります。
平井	【今後の指定に向けた意見】	歴史的な建造物については、歴史的

委員名	意見	担当課 回答
委員	歴史的な建造物については、相続等により滅失する事例が急増しているので、できる限り早め早めに手を打つほか、建築協定や地区計画など線的・面的制度もあらためて積極的に活用していただきたい。	風致形成建造物の指定などで保存を図りつつ、景観計画重点区域、建築協定や地区計画など良好な街なみ形成につながる制度の活用について検討を進めてまいります。
齋藤委員	【今後の指定に向けた意見】 歴史的風致形成建造物については、その地域固有の重要な風致形成を担ってきた建造物と考えられることから、第1期の期間のみの指定ではなく、第2期以降も引き続き指定していくべきと考える。	引き続き歴史的風致の維持及び向上を図るため、歴史的風致形成建造物の調査及び指定を進めてまいります。
安藤委員	【今後の指定に向けた意見】 第1期計画期間中に指定した建造物については、継続して指定することは当然のこととして、第2期計画期間中においては新たな指定候補物件を積極的に見だし、所有者の理解を得ながら指定に向けて取り組んでいただくことを期待したい。	歴史的風致の維持及び向上を図るため、候補となる建造物の調査及び歴史的風致形成建造物への指定を進めてまいります。
小澤委員	【今後の指定に向けた意見】 小田原市歴史的風致維持向上計画（第2期）においても、改めて第1期で指定している歴史的風致形成建造物の指定を行い、歴史的風致の維持及び向上に努めていただきたい。	
鈴木委員	【今後の指定に向けた意見】 第1期計画に引き続き、歴史的風致形成建造物の指定を進め、歴史的な街なみの保全と、歴史的風致の維持向上に努めていただきたい。	
武井委員	歴史的な街なみを保全するために、民有を含め、建物を指定していくべきと考えます。	
石塚委員	【今後の指定に向けた意見】 引き続き、歴史的風致形成建造物の指定を進めるため文化財所管課等と連携するとともに、指定した建造物については、歴史的、文化的価値を損なわないよう適切に保全されるよう取り組んでほしい。	

報告事項 (1) 社会資本総合整備計画の次期計画策定について

委員名	意見	担当課 回答
-----	----	--------

委員名	意見	担当課 回答
後藤委員	今後、事業を早川地区にまで広げて、さらに市内での来訪者の滞在時間の延長をはかり、この効果を持続させていきたい。	更なる歴史まちづくりのため、国の支援措置である社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業）等を活用し、事業展開を進めてまいります。
平井委員	予想外にB/Cが良かったですね。この結果は市内外に広く周知すべきだと考えます。	B/C（費用便益比）については、社会資本総合整備計画に掲載し、市ホームページにて公表するなど、広く周知していく予定です。
小澤委員	次期計画の策定にあたっては、都市再生整備計画との整合を図り、両計画に位置付く事業が効率的に推進できるものとしていただきたい。	更なる歴史まちづくりの推進のため、御意見のとおり取り組んでまいります。
鈴木委員	社会資本総合整備計画の次期計画を策定し、引き続き交付金を活用した歴史まちづくり事業を推進していただきたい。	更なる歴史まちづくりのため、国の支援措置である社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業）等を活用し、事業展開を進めてまいります。
石塚委員	歴史的風致維持向上計画を推進していくうえで、国の支援措置である社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業）は、非常に有効なため、必要に応じて事業を位置付け、効率的に歴史まちづくりを推進してほしい。	